

製品名: PARK7/DJ1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00096**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,FC,IP |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。 |
| 精製 | アフィニティークロマトグラフィー |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50 |
| 分子量 | Calculated MW: 20 kDa; Observed MW: 20 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | PARK7 |
| 別名 | PARK7; Protein DJ-1; Oncogene DJ1; Parkinson disease protein 7 |
| 遺伝子 ID | 11315 |
| SwissProt ID | Q99497 |
| 免疫原 | ヒト PARK7/DJ1 の合成ペプチド |

背景

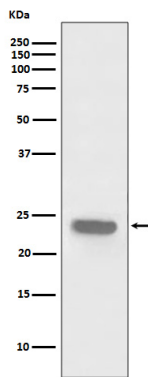
黒質緻密部のドーパミン作動性ニューロンにおけるミトコンドリア脱共役タンパク質 SLC25A14 および SLC25A27 の発現または安定

性を調節する役割を果たし、ペースメイキング時にL型チャンネルを介してニューロンに流入するカルシウムによって誘発される酸化ストレスを軽減する。Rasと協調して細胞形質転換を促進し、アンドロゲン受容体の転写を正に制御し、酸化ストレスの指標として機能する可能性がある。

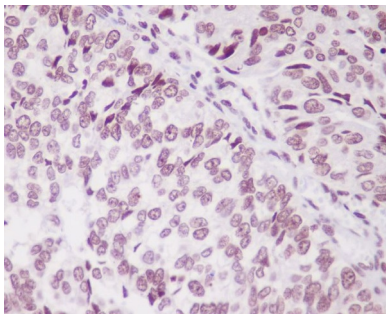
研究分野

神経科学

画像データ



PARK7/DJ1 抗体を使用した HeLa 溶解物中の PARK7 のウェスタン ブロット分析。



PARK7 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。